

Model 4MN522RH

RHYTHM

電波時計 取扱説明書 (報時付掛時計)

～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信して正しい時刻に自動修正
- 毎正時にメロディを1曲奏でます

製 造
発 売 元

リズム時計工業株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12

<http://www.rhythm.co.jp>

もくじ

1. 安全にお使いいただくために、はじめにお読みください	2
2. 電池のご注意（電池の正しい使いかた）	3
3. 電池・時計の廃棄	3
4. お手入れについて	3
5. 電波時計について	4
・ 電波時計とは	・ 海外でのご使用について
・ 標準電波とは	・ 電波の受信範囲について
・ 標準電波の送信停止について	・ 電波を受信しにくい環境
6. 各部の名称と役割	5
7. ご使用方法	6
報時機能の設定	7
内蔵電池による時刻のバックアップ	7
8. 時計の掛けかた	8
9. 標準電波—受信の流れとサーチ機能	9
10. 標準電波を受信できない場合	10
手動での時刻合わせ …電波を受信できないときや任意の時刻に合わせるとき	
11. 電波受信機能の ON/OFF 操作	11
12. 電池の交換について	12
13. 故障かな?	12
14. おもな製品仕様	13
アフターサービスについて	14
お問い合わせ先	

付属品


電池	2 個	木ねじ	1 個	小ねじ	1 個
振り子	1 個	取扱説明書	本書	保証書	1 枚

1. 安全にお使いいただくために、はじめにお読みください


ここに示した事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

- 図記号の説明
- ⊘ 禁止（してはいけないこと）を示しています。
 - ❗ 指示する行為を必ず守ることを示しています。


警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない


万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

- 電池に傷をつけたり、分解したりしない。
- 電池を充電しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を加熱したり、火の中に入れてたりしない。


 マグネットに磁気式カードや医療機器、アナログ時計など磁気の影響を受けやすいものを近づけない


- データの消失、誤作動、故障の原因になります。
- ペースメーカーなどの医療機器の場合、人命にかかわる場合があります。


 電池から漏れた液に素手でふれない


- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- 電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。


注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

 浴室やサウナ、温室など、高温・高温になる所では使わない
さびの発生や故障の原因になります。

 分解したり改造しない
けがや故障の原因になります。

 強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。

 めれた手でさわらない
さびの発生や故障の原因になります。

 下記のような場所では使わない
品質や精度の低下、部材の変形、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器などの乾燥した風が当たる所。
- 温度が+50℃以上の所。
- 温度が-10℃以下の所。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を生じさせる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

2. 電池のご注意（電池の正しい使いかた）

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス（+）、マイナス（-）を間違えない。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 電池を新しくするときは、全部取り替える。
- 幼児の手が届かない所に置く。

電池の種類について

- 指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。
- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

電池の寿命について

- 付属の電池は、工場を出荷するときに入れてありますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

3. 電池・時計の廃棄

- お住まいの地区自治体の指定に従ってください。
- 廃棄するときは電池と時計を分別してください。

4. お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

5. 電波時計について

電波時計とは

クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波とは

標準電波 (JJY) は、日本標準時 (JST) をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jy.nict.go.jp)

標準電波の送信停止について

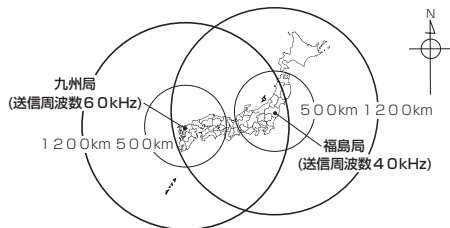
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については情報通信研究機構のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でのご使用になる際には、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせてお使いください。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

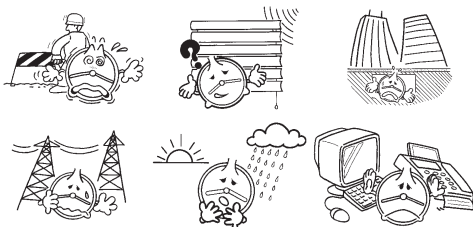


この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電波を受信しにくい環境

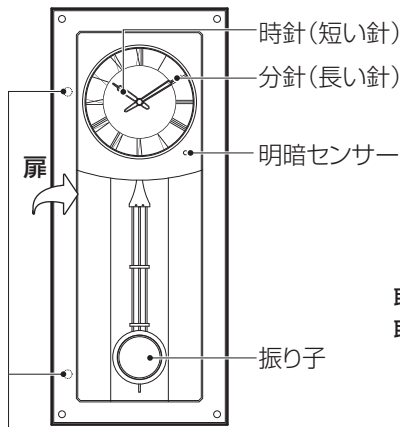
次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの地下、ビルの谷間、ビルの中など
- 高压線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く



6. 各部の名称と役割

図は操作説明用ですので、実際のものとは異なることがあります。



底部に振れ止めがあります

扉はマグネットで固定されています。

△注意

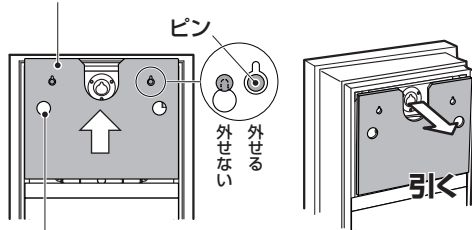
扉を開けたときに、針に触れないでください。時間違いの原因になります。

扉を下向きにすると扉が開くことがありますので注意してください。

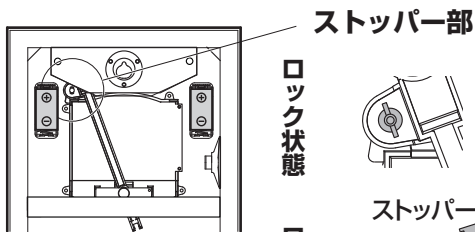
○通常、針は10秒に1回動きます。

電波を受信後、時刻を自動修正するときは、針が順方向または逆方向に早送りや遅送り、停止したりします。

裏ぶたの取り外し／取り付け



取り外すときは、丸穴に指をかけて持ち上げて手前に引く。取り付けるときは、逆の順番で行ってください。



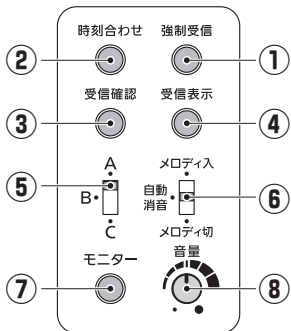
単2形アルカリ乾電池 2個

△注意 電池を逆向きに入れると液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

ロック解除

ストッパーを回転させて引き抜いてください。

(右側面操作部)



- | | |
|------------|--|
| ① 強制受信ボタン | 電池を入れた直後に押す |
| ② 時刻合わせボタン | 手で時刻を合わせるときに使用
不用意に押すと時刻が変わります |
| ③ 受信確認ボタン | 押すと受信結果を受信表示ランプでお知らせします。 |
| ④ 受信表示ランプ | 5秒間点灯：受信成功
5回点滅：受信失敗
消灯：受信中または受信機能 OFF |
| ⑤ 曲群選択スイッチ | 曲群を選択。 |
| ⑥ メロディスイッチ | 毎正時のメロディの鳴らしかたを選択 |
| ⑦ モニター | メロディの試聴 |
| ⑧ 音量つまみ | 音量調節 |

7. ご使用方法

手動で時刻を合わせる場合は、**手動での時刻合わせ** (P.10) を参照してください。

この時計は時刻を合わせて出荷しております。

単2形アルカリ乾電池を2個入れて、強制受信ボタンを押してください。

強制受信ボタンを押してからおよそ3分以内に時刻を表示します。

※時刻合わせボタンを押さないでください。押すと時刻が変わってしまいます。

※時刻を表示する前に針が一時停止したり、順方向または逆回りで早送りしたりします。

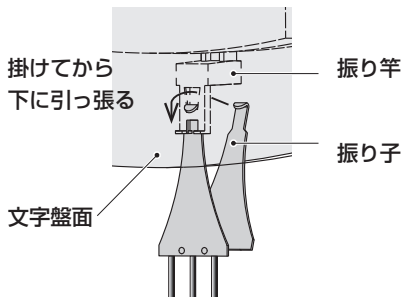
※標準電波の受信結果の見かたは、

「標準電波—受信の流れとサーチ機能」(P.9) を参照してください。

- ① 裏ぶたを取る
- ② 表示用の単2形アルカリ乾電池を2個入れる
- ③ 強制受信ボタンを押す
- ④ ストッパーを取る
ストッパーは機構を保護するものです。使用するときには、取り外してください。
輸送する際は、必ず取り付けて振り竿を固定してください。
- ⑤ 裏ぶたを取り付ける
- ⑥ 「時計の掛けかた」(P.8) に従って時計を掛ける
- ⑦ 扉を開ける
- ⑧ 振り子を取り付ける
- ⑨ 扉を閉じる
- ⑩ **報時機能の設定** (P.7) に従って設定してください。

振り子の取り付けかた

時計の正面から文字盤面の裏に振り子を挿し込み、振り竿に掛けて下に引っ張ってください。

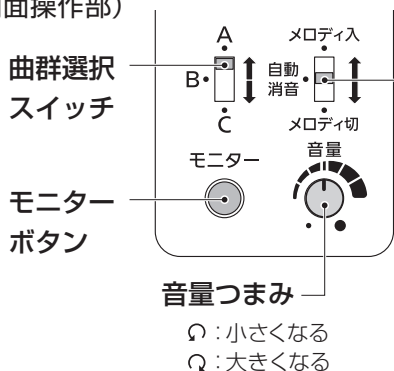


振り子が取り付けにくいときは、時計を掛ける前に振り子を取り付けてください。時計を掛けるときなど、振り子が他の部分に当たって傷を付けないように注意してください。

報時機能の設定

報時は、毎正時にメロディを1曲奏でます。

(右側面操作部)



メロディスイッチ

メロディ入：毎正時に報時します。
自動消音：明暗センサーと連動して暗くなると報時を停止します。

※昼間や照明器具により照明されているときでも、明るさが不足すると明暗センサーが働きます。

メロディ切：報時しません。

♪ 曲群の選択

30曲のメロディがA、B、Cのグループに分かれて収録されています。お好みに合わせて選択してください。収録曲は、時計本体裏面に表示してあります。

♪ メロディの試聴

モニターボタンを押すとメロディを1曲奏でます。メロディが鳴っているときに、モニターボタンを押すと曲順が1つ進みます。

次の正時では、メロディを再生する順番が1つ進みます。

※時刻合わせボタンで時刻を正時たとえば10時にしても報時しません。

♪ 音量の調節

モニターボタンを押してメロディを奏でている間に音量つまみを回して調節します。

内蔵電池による時刻のバックアップ

この時計は、工場出荷時に電波を受信させ、内蔵電池により時を刻み続けています。また、定期的に電波の受信を試み受信に成功すると時刻を修正します。

表示用電池を入れて強制受信ボタンを押すと、およそ3分以内に内部時刻を表示します。

表示用電池が消耗したときや取り外したときは、内蔵電池に切り替わります。

※内蔵電池のみでは、針による時刻表示や報時を行いません。

※電波受信機能がOFFに設定されているときは、受信を行いません。

※表示用電池により時刻表示がされているときには、内蔵電池を使いません。

※通常の使いかたでは内蔵電池の交換は不要です。

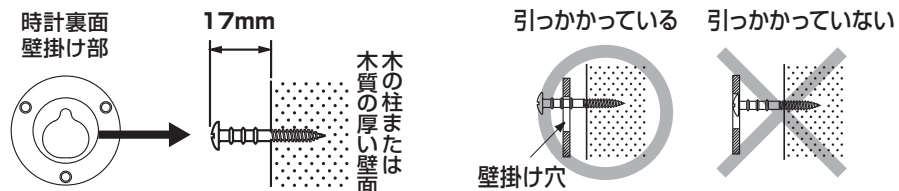
8. 時計の掛けかた

⚠ 注意 掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。

- 掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、掛け具（木ねじ）に壁掛け部がしっかり掛かっていることを確認してください。
- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。
- 壁掛け部以外に掛けないでください。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け部にしっかり掛かるものを選んでください。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。

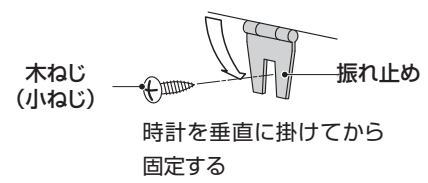


その他の壁面の場合

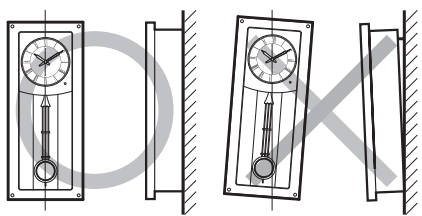
- 石こうボードやコンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

■ 振れ止めを固定してください

扉を開閉するとき時計が傾くのを防ぐため、時計底部の振れ止めを木ねじ（小ねじ）で固定してください。



※ 時計が傾いていると振り子が正常に動かなくなります。



9. 標準電波—受信の流れとサーチ機能

電波サーチ機能は、受信表示ランプの点灯または消灯により、時計がある場所の電波状態をお知らせします。

サーチ機能を使用するときの手順

- ① 窓際やベランダなど電波の受信しやすい所に時計を移動
- ② 強制受信ボタンを押す

受信表示ランプが約3秒間点灯後に受信を開始。針は早送りで移動し、時刻を表示します。

- ③ 受信局を表示後、受信表示ランプが点灯したら設置したい場所に時計を移動
- ④ 電波状態を確認

点灯：電波良好 → 受信できる可能性大

消灯：受信できない → 時計を移動させてください

- 点灯と消灯が繰り返されるときは電波が弱いです。受信に失敗する可能性があります。
- 電波サーチ中に、時計の向きや位置を変えると受信表示ランプの状態が変化することがあります。

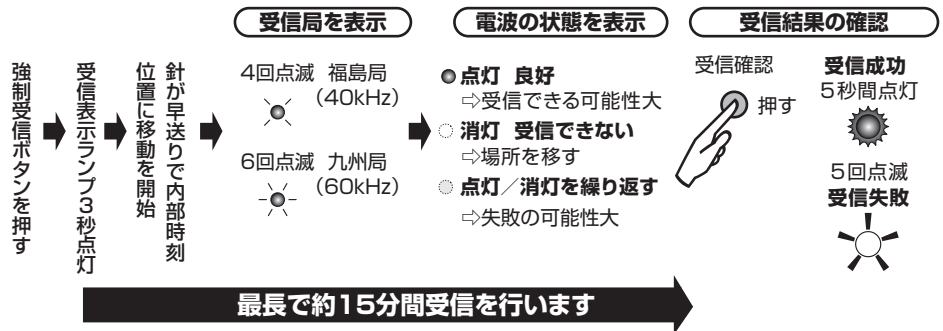
- ⑤ 受信開始からおおよそ15分後に受信確認ボタンを押して受信結果を確認

受信成功：5秒間点灯

受信失敗：5秒間点滅

※24～25時間以内の受信結果を表示します。

- 受信に成功してもノイズにより誤った時刻を表示することがあります。このようなときは、場所を変えて**強制受信ボタン**を押してください。
- 受信に失敗している場合は、表示されている時刻は正しくありません。



※時計・分針は、順方向または逆方向に早送りで回ったり、停止したりして時刻を表示します。

10. 標準電波を受信できない場合

●朝までそのままにしておく

一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくことで受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える／受信をやり直す

電波の受信しやすい窓ぎわや取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に、なるべく向くようにして、強制受信ボタンを押して再度受信を行ってください。

●時刻を合わせて使用する

ベランダなど屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

受信できない場合は、手動で時刻を合わせてご使用ください。

手動での時刻合わせ…受信できないときや任意の時刻に合わせるとき

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。

※時刻合わせボタンを離しているのに、針が早送りで動いている場合は、通常の針の動きになってから操作してください。

※電波受信機能がONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。

操作

時刻合わせボタンを押すと、時針・分針が動きます。

○時刻合わせボタンを押してすぐに離した場合は1分進みます。

○時刻合わせボタンを押し続けると早送りで動きます。

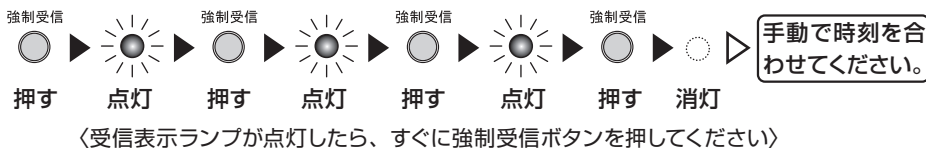
※時刻合わせボタンを離したときにゼロ秒になります。

11. 電波受信機能のON/OFF操作

誤受信しやすい所で使用する場合や意図的に時間をずらしてお使いになるときには、電波を受信しないようにすることができます。この場合、時間精度はクォーツ精度になります。

■電波受信機能をOFFにするには（停止するには）

図のように強制受信ボタンを4回押します。ボタンを押すタイミングによっては、OFFに切り替わらないことがあります。このようなときには、操作を繰り返してください。



※電波受信機能がOFFのときに強制受信ボタンを押すと、受信表示ランプは消灯したままで、針が早送りで動いたり、止まったりしてから時刻を表示します。

■電波受信機能をONにするには（開始するには）

工場出荷時の設定は、電波受信機能がONになっています。

時刻合わせボタンを押したまま、強制受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後、必ず強制受信ボタンを押して受信を開始させてください。



ご注意

※この説明文の中で「押し」は、「押して、すぐ離す」ことです。

※表示用の電池を取り外しても設定を保持しています。

12. 電池の交換について

次のようなときは電池を交換してください。

- 時刻が進んだり、遅れたりする。
- メロディスイッチが「メロディ入」なのに、正時に報時しない。
電池の残量が少なくなると標準電波の受信、報時を停止します。
- 時分針や振り子が止まった。
- 電池を入れて1年経過した。(1年に1回定期的に交換してください。)

注意 電池の交換 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

電池からの液漏れにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。

電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために次のことをお守りください。

- 時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。



13. 故障かな？

現象	考えられる原因と対応
メロディが正常に鳴らない。 針が動かない。	電池を使い切った。→新しい電池に交換する。 静電気の影響で回路が誤作動している可能性があります。強制受信ボタンを押してください。
強制受信を押して受信しているときに 正時たとえば10時になったが報時をし ない。	標準電波を受信しているときは、受信しやすくするために報時をしないようになっています。

14. おもな製品仕様

時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度 秒針 ±1秒 時針/分針 目盛りに対して±3度 標準電波を受信しないとき 平均月差±20秒 (温度が5~35℃のときのクォーツ精度)
使用温度範囲	-10 ~ 50℃ *結露しないこと
使用電池	表示用 単2形アルカリ乾電池 1.5V JIS規格 LR14 1.5V 2個 内蔵電池 CR2032 3V 1個
電池寿命	表示用 約1年 電波の受信に成功して1日当たり17回報時 内蔵電池 出荷時より約5年 *通常の使いかたでは交換不要
報時機能	毎正時にメロディを1曲奏でる
音源	電子音
収録曲数	30曲 3つのグループに分けて収録
暗所自動鳴り止め	明暗センサーに連動
音量調節	ロータリー形式
標準電波	標準電波を受信して時刻を修正
受信局	福島局/九州局 自動選択
受信回数	最少1回/日、最多6回/日 *受信状態により変化
受信開始時刻	2時、3時、4時、12時、13時、14時 各時間帯の16分20秒 *2時16分20秒は、必ず行う
受信機能	ボタン操作でON/OFF切り替え
サーチ機能	受信局、電波の強弱表示
手動時刻合わせ	ボタン操作
防水機能	なし

●製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無償保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有償での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより、修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

This product is intended for the Japanese market.

Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先

(フリーダイヤル)

お客様相談室 0120-557-005

受付時間 9:00 ~ 17:00 (土日、祝日および当社休日を除く)

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたらお客様相談室にお問い合わせください。

お問い合わせに際しては、製品番号(型番)「4MN522」をお伝えください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。

本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますので、ご了承ください。

RHYTHM

M478-RXXZ
(Y1312)